

ハンディ光沢計 IGシリーズ 業界別資料 フロアメンテナンス編

フロアのワックス効果を光沢度で見える化



光沢管理の重要性

外観や内装、店舗や施設的美観は、集客や商品の売れ行きを左右し、大きな影響をあたえます。この時、人の見た目に訴えかける項目のひとつが「ピカピカ」= 光沢。床面などピカピカを維持すべき箇所では、表面の光沢度合を管理することが求められています。

「あいまい」を明確に数値化する光沢計

光沢度合を人の目で判断する場合、個人差はもちろん、その時々周囲の明るさや体調、気分によっても結果に差が生じるため、常に客観性を持たせることは非常に困難です。そんな人の目にはあいまいな光沢を明確に数値化するのが光沢計です。

フロアメンテナンスにおける光沢管理

店舗や施設などの床面は、通常、美観を維持するため定期的に清掃やワックスがけを行います。フロアメンテナンスの効果を確認する際、従来は人による目視確認に頼ることが多く、個人の感じ方の差などにより判断にばらつきが生じたり、作業者が依頼主に報告する際にも基準があいまいになります。このようなフロアメンテナンスの光沢管理においても、「あいまい」を数値化するツールとして、光沢計が活躍しています。

フロアメンテナンスにおける測定例 (IG-340)

● ワックス2層塗布の状態



● ワックス6層塗布の状態



上の写真のように、ワックスを2層塗布した状態と6層塗布した状態では、床面で反射する照明の像の鮮明さからも、光沢に差があることがわかります。

これを数値化することで、どれくらい差があるのかを明確にすることができ、お客様への報告にも説得力が増します。

HORIBAのIG-340は、大きな画面で測定値が見やすく、床に置いて測定した値を立った位置からでも確認しやすいと好評です。また、記録日時とともに測定値や平均値を本体にメモリすることが可能。USB出力機能付きで、事務所に戻ってから現場で記録したデータを専用ソフトなしでPCに取り込むことも可能です。

ハンディ光沢計 グロスチェッカ IG-340

現場での使いやすさを追求した操作性と充実の機能

希望販売価格 **144,000円** (税抜)



- 測定値が見やすい大画面表示
床置きで測定した値を立ったまま確認
- 本体に測定値や平均値の記録ができ、
専用ソフト無しでPCに出力も可能
- 安心の防塵・防滴構造 (IP42)

[光学系]	入射角60°- 受光角60°
[測定面積]	6×12 mmの楕円
[測定範囲]	0.0~100.0
[表示分解能]	0.1
[外形寸法]	61(W)×62(D)×176(H) mm
[重量]	320 g以下 (電池、保護キャップ含む)
[機能]	データメモリ、USBデータ出力、MAXモード、オートパワーオフ

ハンディ光沢計 グロスチェッカ IG-331

お求めやすい光沢計のエントリーモデル

希望販売価格 **69,000円** (税抜)



- 本体とセンサ部 分離タイプ
小型センサでピンポイント測定可能
- 一般的な測定角60°に加えて
20°測定も可能
- 小型、軽量、簡単操作

[光学系]	60°測定：入射角60°- 受光角60° 20°測定：入射角20°- 受光角20°
[測定面積]	3×6 mmの楕円 (60°測定時)
[測定範囲]	0~100
[表示分解能]	1
[外形寸法]	本体：140(W)×34(D)×75(H) mm 光学系：88(W)×45(D)×30(H) mm
[重量]	350 g以下 (電池、保護キャップ含む)

«製造元»

株式会社堀場製作所

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 075-313-8121
http://www.horiba.co.jp

●製品の技術的なご相談をお受けします。カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル **0120-37-6045**

受付時間/9:00~12:00、13:00~17:00

【祝祭日を除く月曜日~金曜日】

※携帯電話・PHSからでもご利用可能です。

※一部のIP電話からご利用できない場合がございます。

MCJ-PE0007B

«お問合せ»